

Vol.199



病院ホームページは

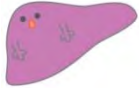
<http://www.mhi.co.jp/kobe/hospital/>

かけはし

理念

すべては患者様と
地域社会のために

発行責任者 病院長 松本 健



～脂肪肝について～

消化器内科

足立 聡一郎

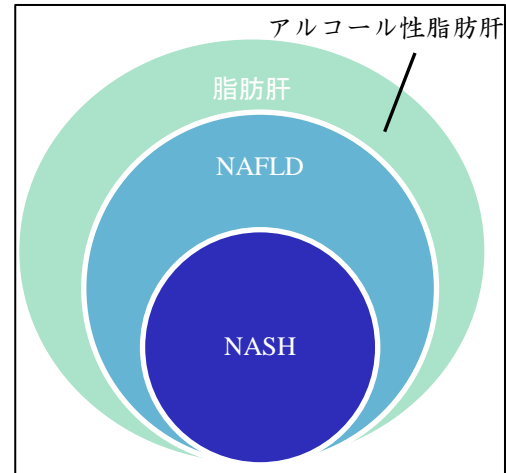
健康診断でしばしば肝障害（AST、ALT、 γ -GTPの上昇）を指摘されることがありますが、その原因として最も多いものの一つに脂肪肝があります。脂肪肝は肝細胞が脂肪により変性する疾患であり、アルコール性脂肪肝と非アルコール性脂肪性肝疾患（NAFLD）に大別されます。NAFLDは糖尿病や高脂血症などと同じくメタボリックシンドロームに関連した病態ですが、この中でも問題となるのが非アルコール性脂肪肝炎（NASH）と呼ばれる病態です。NASHでは慢性的に損傷を受けた肝細胞が線維化をきたし、肝硬変や肝細胞癌などに進展する恐れがあります。NASHの有病率は3～5%とされていますが、脂肪肝の中でもこのNASHにあたるかどうかの見極めが重要となります。

脂肪肝の診断は主に腹部超音波検査でなされます。NASHの診断に最も有用なのは、肝臓に針を刺して組織を採取する肝生検ですが、侵襲性の高い検査であるため、脂肪肝の中でも線維化のリスクの高い方が肝生検の適応となります。また、NASH診断に有用な血液バイオマーカーもいくつか検討されていますが現時点で確立されたものではありません。

NASHを含めた脂肪肝の治療は、まず生活習慣の是正が重要です。肥満を伴う場合、体重7%以上の減量により、肝細胞の線維化を改善させることが示されています。全体カロリーを抑えること、特に脂質を制限するのが重要です。アルコール性脂肪肝の場合、飲酒の制限が最も重要となります。運動療法も有効であり、特にウォーキングなどの有酸素運動が有効とされています。内服治療としては、ビタミンE製剤、糖尿病治療薬、高脂血症治療薬などが有用とされていますが、いずれも確立されたものではありません。

脂肪肝の中でNASHは一部ですので、必要以上に恐れることはありませんが、それでも油断のならない疾患です。食事・運動療法をはじめとした治療ももちろん重要であり、定期的な血液検査や腹部超音波検査を受けることもまた重要です。

【脂肪肝図式】



お問い合わせ先

内科受付 078-672-2619(外線)
8-63-22619(内線)

新任医師ご紹介

内科

赤松 貴子

専門分野

消化器疾患

趣味・特技

上手くはないですが、スキー・スノーボード、読書



これからの抱負

周りの先生方と協力し合いながら、担当する患者様やその疾患に精一杯向き合っていこうと思います。微力ですが、宜しくお願い致します



地域医療連携室

森安 恵美



新しい環境の中、分からない事ばかりで学びの毎日ですが、患者様の思いに気づき対応できる相談員になりたいと思っています。宜しくお願い致します。